

プランチェックの NG について

文書管理番号 : 1257-01

Q. 質問


特定の物件で、3D パースの 3 次元化を行うとエラーになり 3D パースを作成できない。
 プラン図の画像出力や図面出力で、起動または保存時にエラーになる。
 プラン図や 3D パースの画面で壁や天井が長く伸びた状態で表示される。


A. 回答

プラン図や天井伏図などで不適切なデータがあると、3D パースの 3 次元化や、プラン図の画像出力、
 図面出力や保存時にエラーが生じることがあります。

また、プラン図や 3D パースで壁や天井が長く伸びてしまうことがあります。

3 次元化や画像出力、図面出力を行う前にプランチェックを行い、NG 箇所が無いか確認し、NG 箇所がある場合は修正を行ってください。

プランチェックは、☰ (クイックメニュー) またはメインメニューの  (プランチェック) から起動すると、平面図と共にチェック結果が表示されます。

チェック結果が表示されない場合は、 (プランチェック) をクリック、もしくは「ツール」⇒「プランチェック」を選択してください。



プランチェックの結果一覧表:

チェック分類	チェック項目	判定	箇所数
壁	(1)独立壁チェック	OK	
壁	(2)短壁チェック	NG	2
壁	(3)近接壁チェック	OK	
壁	(4)真壁チェック	OK	
区画	(5)属性未定義区画チェック	OK	
区画	(6)区画重なりチェック	OK	
区画	(7)小居室チェック	OK	
区画	(9)外周壁閉区画チェック	OK	
建具	(10)建具重なりチェック	OK	
建具	(11)壁上チェック	OK	
建具	(12)戸袋接触チェック	OK	
建具	(13)戸袋高さチェック	OK	
建具	(30)建具と柱の干渉チェック	NG	1
庇	(15)不要箇所チェック	OK	
庇	(16)不足箇所チェック	OK	
庇	(17)幅チェック	OK	
庇	(18)高さチェック	OK	
屋根	(25)建具当たりチェック	OK	
屋根	(26)屋根歪みチェック	OK	
屋根	(27)屋根接触チェック	図示	
屋根	(28)外壁接触チェック	OK	
サイディング	(29)サイディング重なりチェック	OK	
柱	(31)柱重なりチェック	NG	1

チェック分類	チェック項目	判定	箇所数
壁	(1)独立壁チェック	OK	
壁	(2)短壁チェック	NG	2
壁	(3)近接壁チェック	OK	
壁	(4)真壁チェック	OK	
区画	(5)属性未定義区画チェック	OK	
区画	(6)区画重なりチェック	OK	
区画	(7)小居室チェック	OK	
区画	(9)外周壁閉区画チェック	OK	
建具	(10)建具重なりチェック	OK	
建具	(11)壁上チェック	OK	
建具	(12)戸袋接触チェック	OK	
建具	(13)戸袋高さチェック	OK	
建具	(30)建具と柱の干渉チェック	NG	1
庇	(15)不要箇所チェック	OK	
庇	(16)不足箇所チェック	OK	
庇	(17)幅チェック	OK	
庇	(18)高さチェック	OK	
屋根	(25)建具当たりチェック	OK	
屋根	(26)屋根歪みチェック	OK	
屋根	(27)屋根接触チェック	図示	
屋根	(28)外壁接触チェック	OK	
サイディング	(29)サイディング重なりチェック	OK	
柱	(31)柱重なりチェック	NG	1

NGのみ表示




各チェック項目の判定欄に「OK」「NG」「図示」のいずれかが表示されます。

NGの項目については箇所数を表示し、チェック項目の番号と共にNG箇所を平面図に表示します。

また、NGの項目を選択すると、選択した項目の該当箇所のみ平面図上の表示が限定され、かつ拡大表示されます。

「NGのみ表示」にチェックを入れると、NGの項目のみ表示します。

屋根接触チェックは常に「図示」と表示されます。

NG箇所は  (プラン図) や  (屋根伏図)、  (外部意匠配置) で修正が必要です。

ただし、物件によっては意図的な入力によりNGとなる場合もありますので、必ずしもすべての項目をOKにする必要はありません。

チェック項目

● 壁

(1) 独立壁

壁が独立して配置されていないかをチェックします。

階段区画内の登り壁は、チェックの対象としません。

このチェックは、閉区画への部屋属性の設定の有無のチェックにもなります。（「属性未定義区画」と連動）

(2) 短壁

長さが 150mm よりも短い壁が無いかチェックします。

(3) 近接壁

150mm 以内で接近している壁が無いかチェックします。

(4) 真壁

和室、広縁、板の間で部屋指示した部屋内に、真壁が設定されているかをチェックします。

間取り変更等で真壁の一部が消えてしまった時のチェックにもなります。

* 「大壁和室」の部屋属性を使用すると、真壁が設定されていなくても NG になりません。

● 区画

(5) 属性未定義区画

閉区画に部屋属性が設定されているかチェックします。

「独立壁チェック」と連動し、部屋属性の指示忘れを防止します。

(6) 区画重なり

部屋区画が重なっていないかをチェックします。

(7) 小居室

以下の属性に設定した部屋が、0.5 坪 (1.656 m²) 未満になっていないかをチェックします。

居間・単独居間・食堂・和室・広縁・洋室・寝室・ファミリールーム・大壁和室・大壁広縁

(9) 外周壁閉区画

外壁が全壁で閉区画となっているか（閉じられているか）をチェックします。

ただし、部屋の属性が外部・オーバーハング、屋内車庫、外部階段の場合は除きます。

- 建具

- (10) 建具重なり

- 建具が重なって入力されていないかをチェックします。

- (11) 壁上

- 建具が壁の上（壁芯）に正しく入力されているかをチェックします。

- (12) 戸袋接触

- 戸袋が単独で存在していないかをチェックします。

- このチェックで「NG」になると、戸袋一体型サッシとして認識されません。戸袋の終点（引き込み側）に、建具の両端点のいずれかが接続している場合に「OK」と判断します。

- (13) 戸袋高さ

- 建具と戸袋の高さ関係をチェックします。

- このチェックで「NG」になる場合は、3Dパースの外観等で、建具と戸袋の高さが揃っていない状態が表示されます。

- 下の条件を満たした場合に「OK」と判断します。

- 建具高さ（+欄間高さ）=戸袋高さ

- (30) 建具と柱の干渉

- 建具と柱の重なりをチェックします。

- このチェックで「NG」になると壁量チェックで金物が配置されなくなり、耐力壁の壁長が正常に認識できなくなる場合があります。

- * 建具の端部に柱の中心が重なっているかのチェックのため、柱のサイズは影響しません。

- 庇

- (15) 不要箇所

- 庇（3D部品含む）に対し、同一階の屋根が無いか、また、庇の上部にバルコニーが無いかをチェックします。

- (16) 不足箇所

- 庇（3D部品含む）が配置されておらず、同一階の屋根も無く、かつ上階にバルコニーも入力されていない外部建具が無いかチェックします。

(17) 幅

単独での存在や、移動した建具に追従していない庇をチェックします。

このチェックで「NG」になると、庇一体型サッシとして認識されません。

勝手口で使用する現場作成庇で、サッシと併用している場合（意図的に入力した場合）は、無視してもかまいません。

下の条件を満たした場合に「OK」と判別します。

建具基準線幅=庇基準線幅

(18) 高さ

庇と建具の高さ関係をチェックします。

このチェックで「NG」になる場合は、庇と建具の間に袖壁が発生していたり、3次元的に重なっていたりすることが想定されます。

3Dパースの外観等で、建具と庇の高さが合っていない状態で表示されます。下の条件を満たした場合に、「OK」と判断します。

建具上端高=庇設置高さ

● 屋根

(25) 建具当たり

建具が上階屋根や下階屋根にあたっていないかをチェックします。

(26) 屋根歪み

稜線、谷線、棟線、軒先線が、0, 45, 90度以外になっていないかをチェックします。

(27) 屋根接触

入力されている屋根データから認識できる棟線、稜線、谷線を図示します。棟線は緑、稜線は茶、谷線は赤で図示します。色が付かないと高さがありません。

(28) 外壁接触

屋根の外壁への食い込み、外壁から離れていないかをチェックします。

● サイディング

(29) サイディング重なり

部分サイディングを重ねて入力していないかをチェックします。

このチェックで「NG」になる場合は、3次元的にサイディングが重なって配置されていることが想定され、上端高さや下端高さを誤って入力している可能性があります。

- 柱

- (31) 柱重なり

柱を重ねて配置していないかをチェックします。

このチェックで「NG」になる場合は以下の操作を行った可能性があります。

- ・ 1階で通し柱を配置した位置と同じ位置に、2階で管柱を入力する。
- ・ 2階で管柱を配置した位置と同じ位置に、1階で通し柱を入力する。
- ・ 移動/複写コマンドを使用して、柱が存在する位置に柱を移動/複写する。

【参考】

柱は、同じ座標に柱が重なって配置されないように制御しています。

手動配置では、柱を配置済みの座標に柱を配置した場合、配置済みの柱を自動的に削除してから新たな柱を配置します。

自動配置では、通し柱を配置した座標には、2階で隅柱・管柱は配置されません。